



第4回日本DOHaD研究会学術集会 開催概要

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 日本DOHaD研究会 公開日: 2016-03-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日本DOHaD研究会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/2928

第4回日本 D0HaD 研究会学術集会 開催概要

初日：8月1日（土）

教育講演1 10：00～10：30

知っておきたい D0HaD に関する用語解説

～D0HaD 研究を理解する時の土台となる知識～

座長：板橋家頭夫（昭和大学医学部小児科学講座）

演者：久保田健夫（山梨大学・大学院総合研究部・環境遺伝医学講座）

教育講演2 10：30～11：10

環境要因によるエピゲノム変化とその遺伝

座長：野原 恵子（（独）国立環境研究所 環境健康研究センター）

演者：石井 俊輔（理化学研究所石井分子遺伝学研究室）

教育講演3 11：10～11：50

生活習慣病とエピジェネティクス

座長：目時 弘仁（東北大学東北メディカル・メガバンク機構 地域医療支援部門 周産期医学分野）

演者：藤田 敏郎（東京大学先端科学技術研究センター、東京大学医学部 22 世紀医療センター 画像診断学講座）

ランチョンセミナー 12：00～13：00

SGA 児の成長に関する Population-based 研究

座長：堀川 玲子（国立成育医療研究センター 内分泌代謝科）

演者：森岡 一郎（神戸大学大学院医学研究科内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

シンポジウム（1）13：00～15：30

我が国の出生コホート研究の現状と課題

座長：森 臨太郎（国立成育医療研究センター 政策科学研究部）

佐田 文宏（東京医科歯科大学 難治疾患研究所）

基調講演 我が国における出生コホート研究の意義、現状、そして今後

森 臨太郎（国立成育医療研究センター 政策科学研究部）

- 1 環境化学物質の胎児期暴露と DOHaD 研究の関係:環境と子どもの健康に関する北海道スタ
ディ (The Hokkaido Study on Environment and Children's Health)
岸 玲子 (北海道大学環境健康科学研究教育センター)
- 2 東北メディカル・メガバンク計画 三世代コホート調査の概要とその目指すもの
栗山 進一 (東北大学災害科学国際研究所/同東北メディカル・メガバンク機構)
- 3 エコチル調査のめざすもの
新田 裕史 (国立研究開発法人国立環境研究所)
- 4 浜松母と子の出生コホート研究 (HBC Study) からみた乳幼児の神経発達とその軌跡
土屋 賢治 (浜松医科大学子どものこころの発達研究センター)
- 5 出生前三世代コホート研究
堀川 玲子 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター内分泌代謝科)

ポスターセッション 1 15:30~16:20

DOHaD の日本語名称検討ワークショップ 16:30~18:00

座長: 宇田川 潤 (滋賀医科大学 解剖学講座 生体機能形態学部門)

伊東 宏晃 (浜松医科大学医学部附属病院 周産母子センター)

基調講演 至適名称を求めて—DOHaD—研究の推進に—

福岡 秀興 (早稲田大学理工学術院)

- 1 ネーミングが持つ力
中西 和代 (初めてのたまごクラブ 編集長)
- 2 次世代の健康を守る出産・成育インフラにふさわしい名は?
西沢 邦浩 (日経 BP 社、日経ヘルス、日経 BP ヒット総合研究所)
- 3 全てを網羅する DOHaD の日本語名称はあるか?
中野 有也 (昭和大学医学部小児科学講座)
- 4 DOHaD 日本語名称に関する提案~周産期を目前にした若年層の意見から~
原馬 明子 (麻布大学 生命・環境科学部)

2 日目 : 8 月 2 日 (日)

学術集会長講演 10:00~10:30

早産低出生体重児と non-communicable diseases

座長: 秦 健一郎 (国立成育医療研究センター 周産期病態研究部)

演者: 板橋家頭夫 (昭和大学医学部小児科学講座)

教育講演 4 10:30~11:10

エピジェネティクスと現代人の体質学

座長: 秦 健一郎 (国立成育医療研究センター 周産期病態研究部)

演者: 中尾 光善 (熊本大学 発生医学研究所 細胞医学分野)

ポスターセッション 2 11:10~12:00

教育講演 5 13:30~14:10

父加齢が次世代の行動に与える影響に関する分子メカニズム:

自閉症発症機序の理解に向けて

座長: 小出 馨子 (昭和大学医学部産婦人科学講座)

演者: 大隅 典子 (東北大学大学院医学系研究科)

シンポジウム (2) 14:20~16:50

“DOHaD” は仮説なのか? 現在わかっていること・わかっていないこと

座長: 佐藤 憲子 (東京医科歯科大学大学院 疾患生命科学研究部・生命情報科学教育部 難治疾患研究所 ゲノム応用医学研究部門 分子疫学分野)

杉山 隆 (東北大学医学部 産科婦人科学教室)

1 DOHaD の科学的基盤形成に必要な研究

久保田健夫 (山梨大学・大学院総合研究部・環境遺伝医学講座)

2 産科の視点より DOHaD に学ぶこととその限界

伊東 宏晃 (浜松医科大学医学部附属病院 周産母子センター)

3 小児科医の視点で考える DOHaD 研究の展望と限界

中野 有也 (昭和大学医学部小児科学講座)

4 メタボリック・シンドロームと胎児期・乳幼児期との関連

宮本 恵宏 (国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部)

5 DOHaD・疫学研究領域の未来

目時 弘仁 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域医療支援部門 周産期医学分野)